

Japan Tobacco International
殆どの主要市場におけるシェアが伸長
市場縮小あるも単価上昇効果により自社たばこ製品売上収益が成長

海外たばこ事業実績速報 2013年4-6月期及び1-6月期

実績概要（前年同期比）

2013年4-6月期

- 当社の海外たばこ事業を運営する Japan Tobacco International の為替一定ベース¹での自社たばこ製品売上収益は、総販売数量が減少したものの、堅調な価格・ミックス改善効果により5.8%増。
- 財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は3.8%増。
- 多くの市場において市場縮小が継続するなか、GFB 販売数量は、ロシアに加えカザフスタン、コーカサス及び North & Central Europe 地域の複数の市場における成長により前年同水準を維持。複数の市場において市場シェアが伸長し、またfine cut は数量ベースで24.6%成長したものの、総販売数量は3.9%減。

2013年1-6月期

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、堅調な価格・ミックス改善効果により4.1%増。
- 財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は2.0%増。
- 複数の主要市場における市場縮小の継続と、1-3月期の一時的な流通在庫量の調整による影響等を受けて、総販売数量及びGFB販売数量はそれぞれ5.1%減、2.3%減。

紙巻きたばこ及びfine cut を含む市場シェア²は、英国、イタリア、スペイン、台湾、トルコ、フランスを含む殆どの主要市場において引き続き伸長。ロシアでは売上シェア³が引き続き伸長。

2013年1-6月期の海外たばこ事業実績

():前年同期比増減率

	2012年			2013年		
	1-3月	4-6月	1-6月	1-3月	4-6月	1-6月
総販売数量 (億本)	989	1,135	2,124	926 (-6.4%)	1,090 (-3.9%)	2,016 (-5.1%)
うち GFB 販売数量 (億本)	611	697	1,308	584 (-4.5%)	695 (-0.3%)	1,279 (-2.3%)
自社たばこ製品売上収益 (百万ドル)	2,731	2,997	5,728	2,729 (-0.1%)	3,112 (+3.8%)	5,840 (+2.0%)
[参考]為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(百万ドル)	2,678	2,958	5,636	2,734 (+2.1%)	3,131 (+5.8%)	5,865 (+4.1%)

2013年4-6月期

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、172百万ドル増(5.8%増)。この成長は、価格・ミックスの改善効果267百万ドル(9.0%の引き上げ効果)が、数量減の影響95百万ドル(3.2%の引き下げ効果)を上回ったことによるもの。

2013年1-6月期

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、228百万ドル増(4.1%増)。この成長は、価格・ミックスの改善効果474百万ドル(8.4%の引き上げ効果)が、数量減の影響246百万ドル(4.4%の引き下げ効果)を上回ったことによるもの。

地域別実績: 2013 年 4-6 月期

South & West Europe 地域の総販売数量及び GFB 販売数量は、fine cut が好調に推移したものの、特にイタリア、スペイン及びフランスでの市場縮小の影響を受けて、それぞれ 3.4%減、8.6%減となりました。市場シェアはイタリア、スペイン及びフランスで伸長しました。

North & Central Europe 地域では、英国において市場縮小の影響を受けて総販売数量が減少したものの、スウェーデン、チェコ共和国、ドイツ及びハンガリーにおける GFB 販売数量の成長により、総販売数量及び GFB 販売数量はそれぞれ 1.5%増、5.2%増となりました。市場シェアはアイルランド、英国、ドイツ及びポーランドで伸長しました。

CIS+地域では、GFB 販売数量が 3.3%増となったものの、総販売数量は 5.7%減となりました。GFB は、ロシアに加えコーカサスやカザフスタンにおいて引き続き成長しました。ロシアでは GFB の市場シェアは引き続き伸長し、GFB の販売数量も 2.4%増となり、売上シェアの伸長に貢献しました。ロシアの総販売数量は、主に大幅な増税後の 7.6%の市場縮小と、中価格帯と現地低価格帯ブランドの販売数量の減少により 7.9%減となりました。

Rest-of-the-World 地域の総販売数量及び GFB 販売数量は、それぞれ 3.2%減、2.4%減となりました。中東における政情不安と、経済情勢の影響を受けましたが、Rest-of-the-World 地域の足元の事業は堅調に推移しています。スーダン、台湾及びマレーシアは好調に推移し、販売数量の減少を一部相殺しました。市場シェアは韓国、台湾、トルコにおいて伸長しました。

グローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)販売数量 : 2013 年 4-6 月期

「ウinston」の販売数量は、コーカサス、台湾、ロシア及び CIS+地域の他の市場での力強い成長により、3.6%増となりました。

「キャメル」の販売数量は、コーカサス、チェコ共和国及びロシアで増加したものの、特にイタリア、スペイン及びフランスにおける市場縮小とダウントレーディングの影響を受けて、3.7%減となりました。

「メビウス」/「マイルドセブン」の販売数量は、台湾における高価格帯セグメントでのダウントレーディングと韓国における市場縮小の影響を受けて、5.4%減となりました。

「LD」の販売数量は、ウクライナ、カザフスタン、チェコ共和国及びハンガリーにおいて増加したものの、ロシアにおける市場縮小の影響を受け、4.2%減となりました。

2013 年 1-6 月期

為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、4.1%増の 5,865 百万ドルとなりました。この成長は、価格・ミックスの改善効果 474 百万ドル(8.4%の引き上げ効果)が、数量減の影響 246 百万ドル(4.4%の引き下げ効果)を上回ったことによるものです。財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、2.0%増の 5,840 百万ドルとなりました。

GFB 販売数量は、カザフスタン、コーカサス、チェコ共和国、ハンガリー、ロシア、トルコ及び CIS+地域の他の市場で成長しましたが、市場縮小の影響がこれを上回り、2.3%減の 1,279 億本となりました。

総販売数量は、複数の市場において市場縮小、流通在庫調整及び前年同期との比較上のマイナス要因があったことなどから、5.1%減の 2,016 億本となりました。

注記:

¹ 為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込み)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込みの場合は、想定為替レート)に基づいて算出されております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直されております。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

² 出典: Nielsen, Logista, Altadis 及び JTI 内部データ。2013年6月時点の12ヶ月移動平均ベース。

³ 出典は Nielsen。2013年6月時点の12ヶ月移動平均ベース。

その他の定義については http://www.jti.co.jp/investors/release/financial_report/definitions/index.html をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ】

JT IR 広報部 東京都港区虎ノ門 2-2-1 代表 03-5572-4291